

事前評価個表

整理番号	19
------	----

地域（地区）名	<small>しまんとがわ</small> 四万十川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	高知県	対象市町村	<small>すさき</small> 須崎市ほか 10 市町村
事業実施期間	R4 年度～R8 年度（5 年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は高知県の西部に位置し、東は土佐湾に面し、北西部は天狗高原<small>てんぐこうげん</small>とこれに連なる四国山地により愛媛県と境を接している。</p> <p>本地区の民有林面積は 199 千 ha であり、国有林を含めると区域面積の約 90% 近くを森林が占めている。森林資源の現況を見ると、人工林面積は 119 千 ha（人工林率 60%）であり、Ⅷ 齢級以上のスギ・ヒノキの面積が 109 千 ha を占める優良な人工林が形成されている。</p> <p>本地区では、対象市町村が市町村森林整備計画を策定し、豊かな森林資源を活用した地域振興を目指している。また、森林資源の適正管理、有効利用の観点から、森林経営計画の策定エリア拡大を推進し、施業地の集約化を進め、高性能林業機械等による生産性の向上を図り、生産コスト縮減や間伐材等の有効利用拡大を目指している。</p> <p>県では四万十川流域の環境保全及び流域の振興を目的に「高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例」を制定している。本事業では、同条例に基づいた自然条件に応じた適正な森林整備が計画されており、適正な人工林の管理による保水力の向上や自然浄化機能の向上が期待される。また、合板・製材生産性強化対策事業や県単独事業との連携を図りつつ、効率的な事業の推進を図る。</p> <p>このため本事業では、効率的な施業に不可欠な路網整備と、搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施し、水源涵養<small>かん</small>等の森林の有する公益的機能の維持増進を目的とする。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,633ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：7,920m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設、改良</p> <p>総事業費：11,866,825 千円（税抜き 10,788,023 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 1.64$</p> <p>（総便益（B）=18,718,624 千円、総費用（C）=11,423,083 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：保有対象林分の分布状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用便益分析結果からも、十分な効率性が確認される。</p> <p>有効性：森林の多面的機能の維持増進、森林資源の有効活用の観点から事業の有効性は高い。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

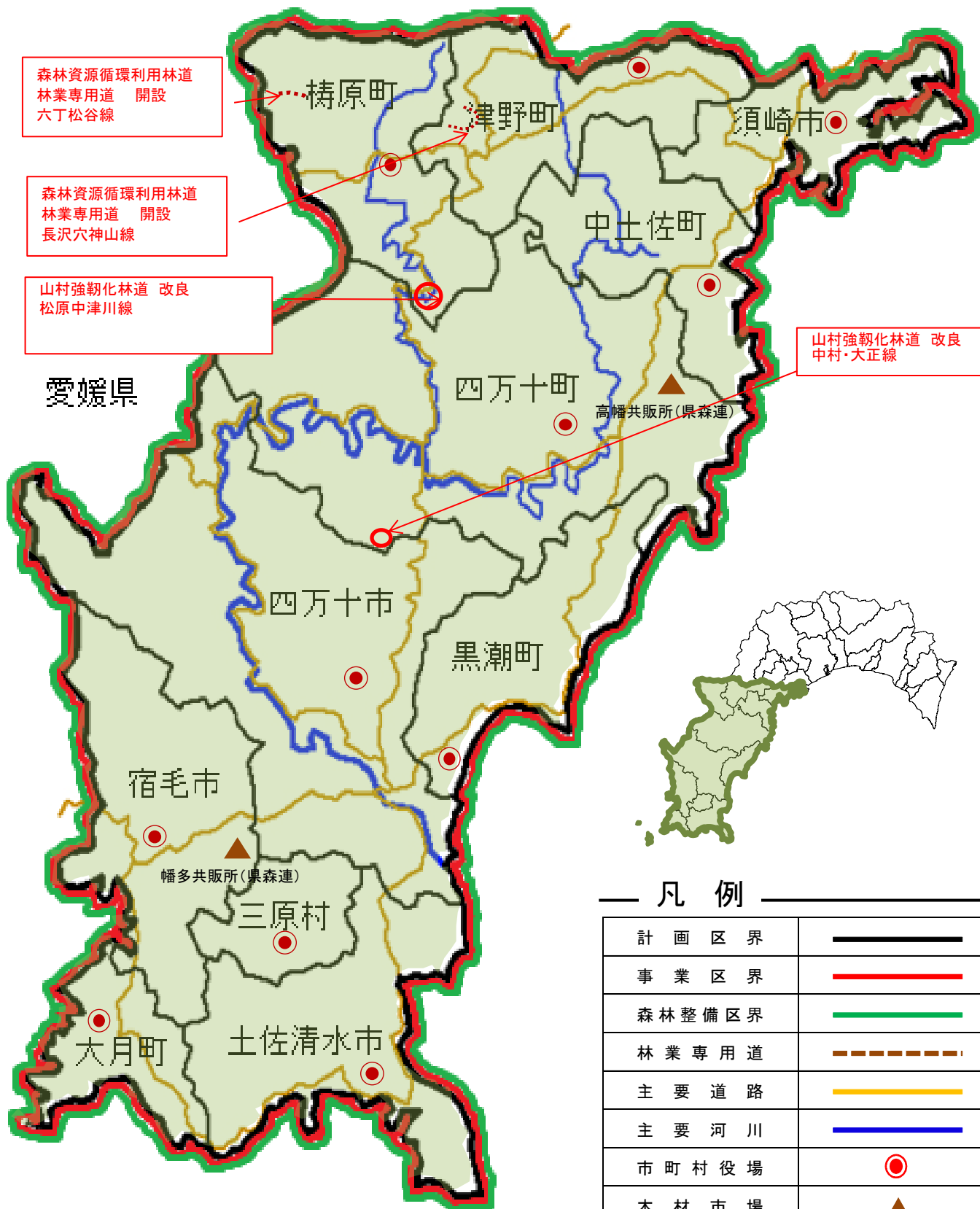
都道府県名：高知県

地域(地区)名：^{しまんとかわ}四万十川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,065,274	
	流域貯水便益	1,621,951	
	水質浄化便益	5,576,743	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,661,157	
環境保全便益	炭素固定便益	1,914,711	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	984	
	木材生産確保・増進便益	2,111,016	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	468,130	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	298,658	
総 便 益 (B)		18,718,624	
総 費 用 (C)		11,423,083	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,718,624}{11,423,083} = 1.64$		

森林環境保全整備事業 四万十流域(高知県) 概要図



森林資源循環利用林道
林業専用道 開設
六丁松谷線

森林資源循環利用林道
林業専用道 開設
長沢穴神山線

山村強靱化林道 改良
松原中津川線

山村強靱化林道 改良
中村・大正線

凡例

計画区界	——
事業区界	——
森林整備区界	——
林業専用道	——
主要道路	——
主要河川	——
市町村役場	●
木材市場	▲
林道改良	○